

第3回浦安音楽ホール検証委員会 議事録

日時 : 平成29年9月6日(水) 9時～11時

場所 : 庁舎4階S5会議室

出席者: 副市長(委員長)、企画部長(副委員長)、
総務部長、財務部長、生涯学習部長、
企画部次長、総務部次長、生涯学習部次長、
企画政策課5名、生涯学習課4名

■議事次第

1. 開会
2. 議題
 - 1) 浦安音楽ホール整備の経緯について
 - 2) 継続と廃止の比較について
 - 3) 利用・予約状況について
3. 閉会

■資料

- 資料1 収入シミュレーション
資料2 利用及び予約状況
資料3 利用者アンケート集計

■議事概要

議題1 浦安音楽ホール整備の経緯について

○事務局説明

第2回で整理し終えることができなかった、音楽ホールの整備の経緯(指定管理者制度導入からの決定までの経緯、使用料決定までの経緯)について、議会答弁等を確認しながら説明した。

「指定管理者制度導入から決定までの経緯」

○事務局説明

- ・浦安市の「指定管理者制度運用指針」に基づき、指定管理者方式と直営方式について比較・検討を行い、音楽専用ホールの運営に携わる専門スタッフの人材確保等の理由から指定管理者制度を導入することとした。
- ・指定管理業務の内容については、施設の維持管理、運営に係る業務に加え、市民に聴く楽しみを知ってもらうため、国内外から芸術性の高い演奏家等を招へいし、多様な

音楽を鑑賞できる機会を提供する鑑賞型事業等の自主事業の実施を求めることとした。

- ・指定管理料については、「(仮称)新浦安駅前文化施設建築設計等業務委託」の中で算出した金額を参考に、管理費や指定管理費、自主事業費などを積算し、平成28年度当初予算案において債務負担行為を平成30年度の期間の限度額1,319,840千円に物価変動等による増減額を加算した額の範囲内と設定し、平成28年3月17日に当該当初予算議案が可決された。
- ・平成28年8月15日に指定管理者の募集を開始し、3社より申請があった。平成28年10月12日に指定管理者選定等審査会を行い、各申請者からの提出書類及び提案を総合的に評価した結果、最も得点の高い(株)コンベンションリンクエージを候補者として選定した。同社の提案は、
 - ① 施設の稼働率及び採算性を向上させると共に、市民により多くの鑑賞・体験機会を提供するなど、利用促進に向けた営業・広報等の方策について講じられていること
 - ② 管理運営の基本方針に沿った目的が明確であり、かつ、青少年への音楽鑑賞機会の提供や音楽生涯学習講座など、専門性の高い魅力的な事業が具体的に計画されていること
 - ③ 自主事業によって得られた利益に対する考え方や経費縮減に配慮した適正な収支計画であることなどが評価された。
- ・平成28年12月16日に同社を指定管理者とする議案が可決され、平成29年2月15日、同社と協定書を締結した。

○質疑応答等

委員長： 他に経緯の整理として確認が必要な点があれば、指摘して欲しい。

委員： 指定管理者制度を導入するにあたり、「浦安市音楽ホール設置及び管理に関する条例」を制定しているが、議決日はいつなのか確認が必要である。

委員： 指定管理料も評価項目の1つであるが、安ければいいというものではない。

委員： 今後、継続した場合の費用として大きく占めるものが指定管理料になることから、その内容等について確認をする必要がある。ただし、額を下げれば質も落ちることから、音楽ホールをどのように運営していくのか見直し、それに沿ったものでなければならない。

「使用料決定までの経緯」

○事務局説明

・音楽ホールの使用料については、本市の「使用料等設定及び改定基準について（指針）」を踏まえ、文化会館及び市民プラザの使用料を参考にするとともに、市民が利用しやすい料金を設定することを基本に検討することとした。

○質疑応答等

委員： 使用料の具体的な数値、決定方法をより詳細に示す必要がある。

議題2 継続と廃止の比較について

○事務局説明

音楽ホールを、賃借開始から2年経過した平成31年2月末に廃止した場合と、賃貸借契約期間である30年間継続した場合の費用について説明した。

○質疑応答等

委員： 廃止した場合、原状回復費用を積算しているが、どのように行ったのか。

事務局： 平成28年度に大規模改修を行った富岡公民館の内部解体費を参考に積算を行った。

委員： 支出面での差だけでなく、収入面の比較を行ってはどうか。継続した場合は使用料の収入があることから、30年間の収入の積算を行い、比較に入れてみてもいいと思う。

事務局： 音楽ホールは4月にオープンしたばかりで、ホールは6月より貸出を始めていることから、年間の予想が立てづらい。8月現在の数値から算出することが適当ではないと考えているが、4月から7月までの4か月間の収入が約800万円であったことから、年間の収入を約2,500万円と考えると、30年間で7.5億円の収入が予想される。

委員： 一般的に、損害賠償金は相手方から示されるため、廃止した場合の試算については前提条件を付けて行う必要がある。

事務局： 検討する。

委員： 継続した場合と廃止した場合を比較すると、サービスの提供の有無という点が多い。何か数値的に比較できないか。

事務局： 検討する。

議題3 利用・予約状況について

○事務局説明

資料2「利用及び予約状況」及び資料3「利用者アンケート集計」を用いて、現在の音楽ホールの利用状況について説明した。

○質疑応答等

委員：利用率について他の施設と比較しているが、コンサートホールは音楽専用ホールであることから、多目的である文化会館等と比較することは難しいのではないのか。ハーモニーホールは文化会館等と比較し、利用率は低いですが、今後PR等を行えば利用率が上がると思われる。

委員：イベントごとのアンケート回答数は座席数に比べて、だいぶ少ないが、その理由は何か。

事務局：アンケートは全員に配布しているが、必ず提出していただくものではないため、座席数に比べ少ない回答数となっている。

委員：アンケート結果から見るに、参加者の半分以上は女性で、40歳以上が8割ほどを占めている。また、参加者の多くが市民であり、「とてもよい」「よい」と感じている人が100%であるということがわかった。

委員：今後、定員に対しての入場者数もまとめた方がいいのではないのか。

委員：コンサートなどに申し込み、落選した人はいるのか。いるのであれば、定員に対する申込者数を確認する必要があると思う。

事務局：申込者数はわかる。

委員：施設利用の申込者数はわかるのか。

事務局：申込者数はわかるが、抽選時、第1希望が外れた場合、第2希望で予約できている場合があり、落選者数は不明である。また、随時予約の際は、空いているところを探して予約するため、そのコマの利用希望者数を正確に測ることはできない。

委員：音楽ホールの建設した背景の一つに、文化会館等が希望通り予約をとれないということがあることから、利用者数だけでなく申込者数なども把握できたらよいと思う。

委員：合わせて文化会館等の予約が取りやすくなったのか確認できたらよいと思う。

事務局：確認方法がないか検討する。

委員長：施設の利用状況及び自主事業の入場者数などを踏まえまとめてほしい。

議題4 今後のスケジュールについて

○事務局説明

今後のスケジュール案について説明した。